

人生勝敗の鍵(ルカ 7:1-10)

人は皆、成功ある人生、勝ち組になりたいと願ってがんばっています。眞の成功と勝ち組とはどんなものなのか、その鍵は何か、聖書から見てみましょう。

1. まず人間の実体を正しく知らないと

1) 神のかたち(創世記 1:27)

人間は、創造主の神様に造られた被造物で、特別に靈である神様と通じて交わることができるたましいを持つ靈的存在です。神様の力が人間を通して現れる存在でした。

2) 罪による死(ローマ 6:23、エペソ 1:3)

その神様に背き、聞き従わず、罪を犯したゆえに、たましいが死んでしまいました。たましいが死んでしまったので、神様との関係が遮断され、神様から離れてしまったのです。惡魔の奴隸となり、自分では抜け出せない地獄の運命の中で、御怒りを受けるべき子になってしまいました。身分が惡魔の子として生まれるのでした。

3) サタンの落とし穴、枠、滅びの運命

根本的に滅びの存在、地獄の子であり、惡魔の落とし穴にはまり、神様を無視して、自分中心に生きようとします。自分がすべてなのです。靈的なことに無知で、目に見える肉のことしか分かりません。永遠の世界が分からずには、肉的なことがすべてだと思って判断しています。惡魔は枠を作つて人間を宗教にのめり込むようにさせ、偶像崇拜、シャーマンやイデオロギー思想に頼るようにさせます。人々は、靈的、精神的、肉的に壊れて、幸せになれず、むなしく、死んで行き、永遠にさ

ばかれます。そして、そのろいは次世代に受け継がれていくのです。これが人間の実体です。根っこに靈的問題、惡魔のしわざがあるので、なにをしてもただ疲れて重荷を負うだけになります。すべての人が同じ運命を抱えて生きて行くのです。お金、社会的栄誉、家庭の安定があれば幸せだと思いますが、それでは何にも関係ないのが人間の実体です。

2. 人生の勝敗は人間的条件と無関係

1) イスラエル、異邦人関係なく公平

実体が分かると、人間的条件とはまったく関係なく、すべての人が公平だと分かります。

2) 学歴、財力、能力、性格、人格、出身、外見-ローマ 3:23

神様を離れた不可能な実体が見えるなら、まったく関係ありません。

3) 高慢/落胆、安心/不満、比較/言い訳

人間の何かを取り上げて言い訳することはできないのです。

4) Only キリスト、イエスはキリスト、ヨハネ 19:30

すべての人が靈的根本問題を抱えていて、運命から出でることができません。ただキリストだけに勝利があります。キリストによって、惡魔の頭が踏み碎かれ、罪とのろいの問題が解決され地獄の運命から解放されます。そのキリストである神様ご自身、神の御子が来てくださいました。ただキリストだけが人生の勝利の鍵であり、十字架で死んで復活されたイエス様こそ、そのキリストです。十字架で完了したと、勝利の宣言をされました。

今までの条件をすべておろしましょう。

3. 人生勝敗の鍵は信仰

キリストがすべて完了されたので、私たち側からは、恵みによって信じる信仰が鍵です。

1) エペソ 2:8

信仰は神様からの賜物です。

2) ヨハネ 3:16,18

信じる者はさばかれるはありませんが、信じない者はさばかれているのです。信じていない人のために祈りましょう。

3) ヨハネ 5:24

信じる者は、死からいのちに移っています。

4) マタイ 16:16-17

イエスをキリストと信じる者が勝者であり、あなたは幸いと言われます。永遠のいのちはあなたのものだと言われるのでした。恵みによ

って信仰を告白する者が勝者です。

イエス様を信じるなら、条件にかまわず勝者(勝ち組)の確信を持ち、勝者に賜る賞を喜びましょう！

1.(ペテロ 2:9、コリント 3:16、エペソ 1:23、マタイ 5:17)名ばかりでなく身分に伴う権威も。

自負と確信を持って、与えられている冠を喜びましょう。身分には権威があります。それを毎日発見して、喜びましょう。

2. 永久シード権-神の御用に用いられる先発選手

いつでもどこでも、聖靈の力が吹き込まれ、御用に用いられるので、聖靈が臨まるよう祈りましょう。

3. 使徒 1:7-8 を握つて 14 の祈りへ！

1部-ルカ 7:1-10 人生勝敗の鍵

なるほど／人間の(靈的)実態がわかれれば、人生の勝敗は人間的条件と関係なくキリストを信じる信仰こそ勝敗の鍵になることがわかる。

ならば／イエス様をキリストと信じる人なら、人間的な条件に構わず勝者の確信と共に勝者へのメダルと宣教に用いられる永久シード権誇りに使徒 1:14 の祈りに入ろう！

2部-マルコ 9:2-8 答えの旅程

なるほど／神様は信者に宣教の答えを用意し、まず入り混ざった信仰の状態を露わにして、Only キリストの靈的状態に整え、御言葉に集中させる旅程へと導かれる。

ならば／良くも悪くも混ざっている信仰の状態を露わにするものと受け止めて、自分の内側に Only のやぐらが建つことを祈ろう！

礼拝では、すべての声を消して、御言葉に集中して御言葉の力を体験しよう！普段の生活で騙されず、すべてを答えの旅程として見る見方を持とう！